
怯まずゆけ

夕焼け

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

怯まずゆけ

【Nコード】

N7219L

【作者名】

夕焼け

【あらすじ】

怯まずにゆくべきだと思っただよ。

昨日友達の服を見立てに下北に久々に行って来た。

2時間以上うろろして、結局友達に似合う服は見つけられなくて、飯をご馳走になって帰ってきた。

で、昨日同行して思った事が幾つかある。

まず、失敗を恐れるのは、あまりいい結果に繋がらないって事だ。

ずっとファッションに疎く生きてきたんだから、失敗して当たり前だ。

最初の何回かなんて、何買ったって絶対後悔する。

そこで自分のセンスの未熟さや、上手く着こなせない自身の風貌に絶望して立ち止まらない事だ。

なんの苦も無くただまっすぐ走るだけで追い抜けるディフェンス、キーパーすら立ちはだからないサッカーなんて楽しくもなんともない。

外す可能性のないキックを繰り返して、延々ゴールにボールを放り込む作業に楽しさなんて一つも無い。

目の前に、予想だにしなかった障害が立ちふさがった時、それを知恵とアイデアと積み重ねてきた経験と培った技術とで乗り越えるから、そこに達成感がある。

そのプレーに観衆は心を動かされる。

ファッションだって同じで「これが答えです。この通りやれば失敗

はありません」って誰かが記した回答をなぞって、外す事の無い無難な回答を延々なぞったって、楽しくもないし周りの誰も心を動かされない。

一見するに到達出来そうにない高みにあるゴールを目指して、その為に経験と鍛錬を重ねて、知恵とアイデアを巧みに駆使してたどり着くから、そのファッションは人の心を惹きつけるんだと思う。そうやって出来るのが自分流のファッションなんだと思う。

最初の最初から何着ても似合っちゃうイケメンなんてほんとにごく稀だし、そんな人はぶっちゃけセンスなんて微塵も無かったってかっこよく見えちゃう。

ファッションの云々っていうのは、そのように「ただ立ってるだけでかっこいい男」には残念ながらなれなかった俺ら平々凡々一般小市民が、生まれつきの天性のイケメン様に太刀打ちするためにあるわけだ。

弱者が強者に立ち向かうために生まれた武術と一緒だ。自分の醜悪さを嘆く必要なんてない。その醜悪さを克服するためのファッションなんだから。

失敗を恐れず試みをする事が大事だし、もし失敗しても、その試みから学べることは、その失敗によって失うものよりも価値がある。目先の物質的な損失を恐れない事が肝要だ。たかが数千円、数万円を下手な買い物で失ったからって死ぬわけじゃない。

数千円、数万円なんて多少バイトを増やしたり、日々の浪費を抑えればいくらでも捻出できる。怯むほどの金額じゃない。

それに、買った時はセンスが追いつかなくて「全然自分に似合わない無駄な買い物だった」って思っても、数年後に今より上等なセンスが身につけば、いくらでもそれを有効活用できる。

たまたま昨日のショッピングから想起したからファッションを基点に云々を書いたけど、これらはファッションに限らず、大抵の事柄に当てはめても通用すると思う。

仕事でも、恋愛でも、創作でも、趣味でも。

失敗によって生まれる損失を、過度に恐れるべきじゃない。

大抵の失敗と損失は、克服する意思と、その意思を遂行出来るだけの普通に健康な肉体さえあれば大体挽回できるし、もし挽回の段階まで至れたなら、その失敗には損失を上回る価値がある。

俺自身、幾つかの事柄に関しては上記のように失敗を恐れずに試みを繰り返して、ある程度納得のいく成果に到達出来はしたけど、失敗を恐れて二の足を踏んでる事もたくさんある。

そろそろレギンス男子を卒業してスカート男子にでもなってみたいと思って、でも普通に原宿でメンズスカート買うのもつまんないから女物の店で森系女子が好んで履きそうなティードやらを時々物色してるんだけど、試着をする勇気が沸かなくて、買えないでいる。

一歩間違えば「勘違い気味のアラサーオカマ」まっしぐらだからだ。店員さんにそう思われる事が怖い。

恥を忍んで押し殺して、月7万の収入からはした金を捻り出して買って、もし失敗したらと思うと怖くて怖くてしかたがない。

だから買えないで二の足を踏んでる。

服だけじゃない。

恋愛や仕事ももっとちゃんと思いたいと思うけど、失敗するのが怖くてもう何年も二の足を踏んでる。

うまくいなくて、辛い気持ちになるのが怖い。

怖い怖いといって、なにもせずに立ち止まって、指をくわえて「然るべき努力の後に幸福を獲得した人々」を眺めてる。

そういう自分に死ぬほどうんざりしてるのに、なかなか一歩目が踏み出せない。

踏み出してもやっぱり大抵最初の一步目で失敗する。

失敗して「やっぱり自分には無理なんだ、やめときゃよかった」とか思って、進む事を諦めてしまう。

うじうじ不景気を撒き散らして、自分も周りも景気悪化の一途をたどる。

そういうのって、この現代の閉塞感の原因の一つでもある気がする。

怯まずにゆくべきなんだ。

多少へマをしたって、そこで死ぬわけじゃない。

でも恐れてここにとどまり続けてれば、今後もなんの可能性に触れる事も無く、いずれ死ぬ。

だから怯まずにゆくべきなんだよ。

もし君がその恐れを噛み殺して突き進む事を選んで、それでも不安に負けそうな時があったら俺が支えてやるから、俺がいつか踏み出す時がきたら支えてくれ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7219/>

怯まずゆけ

2010年10月10日22時16分発行